

ワーク・ライフ・バランスを考える

森田 雅也

育児休業を取得しているいろいろな育児や再確認があった。その一つは、「自分がいなくても組織はまわる」ということである。自分が休業を取った分、周りの方々には少なからぬ迷惑をかけておきながらこんなことを言うとお叱りを受けるかもしれないが、改めてそれを感じた。有給休暇においても、その取得率はここ四年ほど五割をきったままである。ある調査によると、取得を妨げる要因は、取得が今後の処遇に悪影響を与えるのではないかとといった「人事・処遇への懸念」や、自分が休むと業務がまわらず同僚の負担が増えるといった「要員管理・業務量管理上の問題」である。その解決のためには、「休んだことがマイナス査定にならない」ことが徹底され、そんな心配なく休める職場を築いておくことが労務管理上必要である。なかなか難しいことではあるが、さらには、確かに同僚の負担は若干増えるかもしれないが、あなたが休んでも間違いなく組織はまわるはずである。組織はそんなに柔ではない。思い切って一歩を踏み出すことが大切だろう。

私は最近、「(1) 1型人生」を前提としたキャリアプランの必要性を説いている。二十年をひとくくり「1」としてみるのである。平均寿命は約八十歳なので、二十歳前後までの就学中心の時期(1)、六十歳前後までの仕事を中心とする四十年(2)、そして組織を離れてから人生に暮を引くまでの二十年(1)というパターンを念頭に置きながら、自分の働き方、生き方を考えるという見方である。本学は近年、学生諸君のキャリア意識の醸成に力を注いでいる。在学中に、いかに就職を決めるかという(1)と(2)の境界線のクリアだけでなく、(2)の過ごし方も視野に入れた生き方、働き方を考えてもらうことは大きなねらいの一つだろう。

(1) (2) (1)として見ると、ワークが中心となるのは人生の半分しかない、とも言えることに気づくかもしれない。さらに、仕事中心の(2)の期間でも、一年、一週、そして一日といったどのスパンで見ても、それらは仕事生活(ワーク)と仕事を離れた生活(ライフ)で構成されている。仕事生活と仕事を離れた生活とのバランスをできる限り自分で決められるようにしよう、そして現状では、できるだけライフの比率を高められるようにしようというのが、ワーク・ライフ・バランスという考え方である。育児や介護と仕事の両立がメインに議論されているが、もっと広く、自分の時間のどこに仕事時間をあてはめるかを考えることである。その際には、自分で決める「自律」が重要となる。これまで組織主導の働き方に慣れていた私たちが、自分の働き方を自分で決めていくことは簡単ではないかもしれない。しかし、「会社にいる」という時間を評価してくれ、定年までの雇用を暗黙に約束してくれた年功的な労務管理が終了を迎えている今、ワーク・ライフ・バランスを考えることは今後ますます必要になるはずである。オフの時間をどこで作るか。まずは、そこから始めてみてはどうだろうか。

(社会学部教授)

HEADLINE

12	面	特集	関大 Trival
11	面	一部	総理大臣杯で優勝 体育会サッカー
5~8	面	の概要	平成16年度学校法人関西大学決算
4・9	面	特集	おもしろゼミナール大集合



特捜セミ 生白坂さんが紹介しており、我がゼミでは愛知万博について研究を進め、現地に足を運ぶ。では今なぜ万博なのか、私自身も含めて、かつての大阪万博のめぐる体験を記憶に留める人は少くない。しかし去る千月の連休に訪れた愛知万博は、到底それに及ぶものではなかった。実際の三生の中にも、半端ではない入場料を払うならむしろ行きたいと言っている。だがこの万博は周辺整備なども含めると数千億円規模にも及ぶ国家イベントなのであり、当然、その費用の大半は公費でまかなわれることを忘れてはならない。開募当初低迷した入場者数も、その後の伸びで目標は難なくクリアされたうえ成功裏に終わっても、これを一過性のイベントにしないことも重要。そのために、会場をつぶさして見る意義は大きいはず。これから訪れる人には、単なる物見遊山に終わらせず、改めて私たちの将来を考える格好の機会としてもらいたいと思う次第である。

(岡田 朋之)

夏季休業中の施設利用

Table with columns: 施設 (Facility), 平日 (Weekday), 土・日曜日 (Weekend), 8/11~20 (Holiday). Lists various university facilities and their operating hours during the summer break.

セミナーハウスで

夏を満喫



本文のセミナーハウスを夏休みに利用して、たくさん自然と触れ合い、夏を満喫しませんか。白馬池高原ロッジは、自然豊かな長野県北部、白馬池高原に位置し、一年を通じて利用できます。...

白馬池高原ロッジ

六甲山荘

Table comparing facilities and costs for 白馬池高原ロッジ and 六甲山荘. Includes categories like 利用範囲, 宿泊料, 食料, 休館日, and 利用限度.

大学院学内進学試験の合格発表

2006(平成18)年度大学院(法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、工学および外国語教育学研究科)の学内進学試験を実施した。全研究科の合格発表は6月13日に行った。

2006(平成18)年度 大学院博士課程前期課程学内進学試験結果

Large table showing exam results by faculty (研究科), major (専攻), and course (コース). Columns include 定員 (Quota), 志願者数 (Applicants), and 合格者数 (Admitted).

関西大学科学技術振興会



「学の実化賞」の表彰

「学の実化賞」は、河原秀久工学部助教授の「不凍たん白質の製造技術の開発」に係る実績および産学連携活動への先駆的な取り組みが評価され、表彰状と賞金百万円が贈呈された。

学の実化賞、研究奨励賞等の表彰

本学における研究活動を産業界に紹介し、新産業創出など科学技術の発展に寄与すること、ならびに大学と会員企業の発展向上を目的として活動している関西大学科学技術振興会(寺内俊太郎会長)では、会員企業および学内研究員の優れた研究活動の成果や顕著な功績が認められる産学連携活動と、知的財産の創造と活用に対する表彰制度を設けています。

大学トピックス

文部科学省審議官 西大英語指導力開発ワーキンググループ 文部科学省の委嘱を受けて、標榜事業を本学外国語教育学研究科が実施する。この取り組みは、将来指導の立場に立つ中高等学校の英語教員を対象に、「英語師力」を育成することを目的に、合形式等による実践授業研究などのワークショップを開催するものであります。

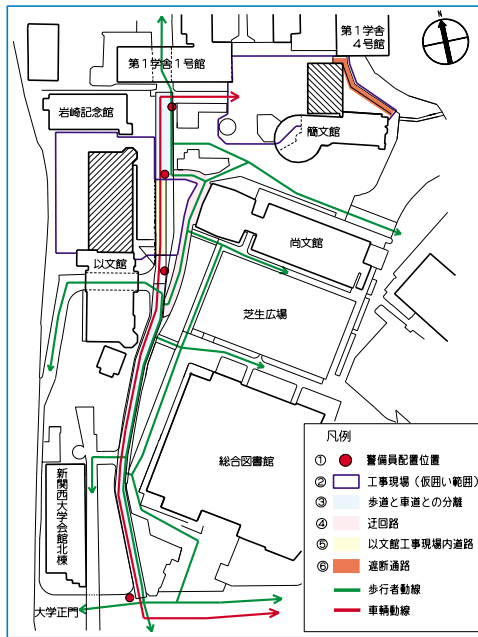
学位取得

ホルゲイの開設、安田陽工と評価され、表彰状八枚の贈呈された。...

来年3月9日完成予定 ご協力をお願いします

以文館・簡文館付近工事の概要

平成十七年度の私立大学
学術研究高度化推進事業と
して、文部科学省から選定を
受けた研究プロジェクトの
うち、学術プロジェクト推
進事業では、大学院文学



研究科の「人間活動理論
センター」を増築すること
として、文部科学省から選定を
受けた研究プロジェクトの
うち、学術プロジェクト推
進事業では、大学院文学

前者は、
岩崎記念館
別館(旧大
学院ホー
ル)を解体
し、その跡
地に鉄筋コ
ンクリート
造陸屋根四
階建ての建
物を以文館
に接続して
増築する。
この建物は
建築面積千
三十七・〇
六平方メートル、
延床面積三
千七百七十
九・四七平方
メートル、
第三回「公開講座」を開催
日時：七月二十日(水)
十三時～十四時半
場所：千里山キャンパス尚文
館一階マルチメディアA/V

2005オープンキャンパス日程決まる

高校生・受験生対象に

高校生や受験生を対象と
するオープンキャンパスの
日程が決まりました。七月十
九日(金)～二十日(土)に開催
するSummer Campus
千里山1st Stageをはじめ
千原山1st Stageをはじめ
め、それぞれの時期に応じ

オープンキャンパス名	日程
Summer Campus 千里山 1st Stage	7 / 29(金)・30(土)
Summer Campus 高機～総合情報学部～	8 / 5(金) <於 高機キャンパス>
Summer Campus 千里山 2nd Stage	8 / 27(土)
Autumn Campus	9 / 24(土)
Fresh Campus	2006年3 / 24(土)

開催時間は10時から16時まで(8月5日高機
キャンパス実施分は11時から16時までの開催
となります。)

入試個別相談コーナー、開
大生への質問コーナー、総
合図書館・エッセイなど
の施設見学、キャンパス
ミニツアー、資料配布、ピ
デオ上映など。
なお、日程により内容は
異なる。詳細はウェブサイ
トなどで確認してください
(入試センター)

公開講座 お知らせ

お問い合わせはリードセンター事務
室まで。
☎06 6368 0721
(10時30分から18時まで)
ウェブサイト
<http://www.kansai-u.ac.jp/extension/>

第34回
関西大学
吹田市市民講座
市民センター。広く一般社
会人の受講歓迎します。
(歴史)
日本の世界遺産 新しい
文化遺産学
九月十九日(土)十月二十
七日の毎木曜日(いずれも
十時四十分～十二時十分)
(総合)
九月十九日(土)十月二十
七日の毎木曜日(いずれも
十時四十分～十二時十分)
九月十九日(土)十月二十
七日の毎木曜日(いずれも
十時四十分～十二時十分)

第7回
関西大学公開講座
(高槻市)
「関西大学公開講座 高
槻市」(後期講座)は、一
般社会人を対象に高槻市立
生涯学習センターと共催さ
れます。会場は、高槻市立
生涯学習センター。
市民のための情報(2)
十月八日(土)十月十日
の毎金曜日(いずれも十
時四十分～十二時十分)
(経済・商学)
九月三十日(土)十月二十八
日の毎金曜日(いずれも十
時四十分～十二時十分)

第163回
「公開講座」を開催
日時：七月二十日(水)
十三時～十四時半
場所：千里山キャンパス尚文
館一階マルチメディアA/V

第164回
「産業セミナー」を開催
日時：九月二十日(火)
十三時十分～大時十分
場所：阪急グランビル二十
六階会議室
総合テーマ「公益通報者保
護法とコンプライアンス」
講師：日和田信子(雪印乳業
阪口徳雄(弁護士) 公益通
報支援センター事務局長)
北川俊光(大学院法務研究
科教授)

第16回
「考古学入門講座」
本学の考古学研究室は、
古墳時代の研究で大きな成
果を上げており、各地の調
査・研究機関で活躍する多
くの研究者を輩出していま
す。
今回は、網干善教名誉教
授、古墳時代研究で注目
される業績を上げていた三
人の講師を迎え、「古墳時代
研究の成果と課題 関西大
学の考古学」と題して開
催します。
九月十四日(土)～十七日
(月)十五時三十分まで。
詳細については、八月上司
からウェブサイト等でお知
らせします。

リードセンター
で学ぶ
エクステンション・リードセンタ
ー「夏期集中講座」と「後期開講講
座」について6月21日から受講申し
込みを受け付けています。
各講座・コースとも、定員になり
次第締め切りますので、早めに申し
込んでください。

夏期集中・後期開講講座

- 情報処理講座
パソコン検定3級
Excel パーフェクト
Word パーフェクト
マイクロソフト オフィス スペ
シャルリスト
システムアドミニストレータ
英語講座
TOEIC®テスト対策
TOEFL®テスト対策
法律家養成講座
基礎「速修ゼミ」
応用演習
関西大学日曜答案練習会
適性試験対策
司法書士基礎力完成(開講中)
- 公務員講座
入門
教養対策教養夏期集中、論文文
・文章理解対策
国Ⅱ・地方上級対策専門得点ア
ップ1
フォローアップ市役所レベル答
練、国Ⅱ・地上答練
心理職対策上級
会計職講座群
簿記検定3級対策
公認会計士入門
税理士簿記論、財務諸表論、簿
財バック
社会保険労務士講座
マスコミ試験対策講座(実力
養成期～)

第16回
「考古学入門講座」
本学の考古学研究室は、
古墳時代の研究で大きな成
果を上げており、各地の調
査・研究機関で活躍する多
くの研究者を輩出していま
す。
今回は、網干善教名誉教
授、古墳時代研究で注目
される業績を上げていた三
人の講師を迎え、「古墳時代
研究の成果と課題 関西大
学の考古学」と題して開
催します。
九月十四日(土)～十七日
(月)十五時三十分まで。
詳細については、八月上司
からウェブサイト等でお知
らせします。

法学部 小泉良幸ゼミナール
ゼミ報告を終えて



ゼミ報告を終えて思うことは、非常に有意義な機会を与えられたということだ。それなりに準備し発表に臨んだつもりが、万事足りないことに気づく。自分の主張を聞き手にどう誤解なく伝えるか、これが、どれほど難しいかを実感した。図書館には多くの参考文献や資料は並んでいるものの、「解答」が並んでいるわけではない。相対立する学説のそれぞれに、守りたい人びとの権利への思いがあり、どの説も、ある意味で「正しく」思える。自分で深く考えていくことは本当に難しいと痛感した。最初に用意したレジュメは詰めが甘く、発表3日前に急遽作り直すことにしたが、限られた時間の中で、疑問に対して誠実に向き合えたあの3日間が、何よりも糧になったと思う。

先生は、私たちのおぼろげな説明でも汲み取って、話の架け橋となってくれる。それぞれの意見を尊重し、議論の最後には、私たちが考えを深める上での示唆を与えてくれる、そんな小泉先生のゼミである。

(法学部3年次生 上田 愛梨)

法学部 小西秀樹ゼミナール
大変であることの充実感



4月にゼミが始まり、最初の報告者に指名された。大変も大変、まずは報告日までが大変であった。何度も先生に呼び出され、そのたびに文献を渡され、レジュメの修正を指示された。テーマについても容赦のない質問が飛んでくる。四苦八苦がつづく。とはいえ、先生の研究室を訪ねるたびに、少しずつ報告の骨格が定まり、内容もふくらんでいく。苦しいなりに、少しばかり充実感を味わう。

そして報告当日が何より大変。チームに分かれたゼミ生からの、予想もしない角度からの鋭い質問に必死で応答しなければならぬ。先生は知らぬ顔。議論は時間が進むにつれてヒートアップ。あまりの白熱ぶりに、気がつくとも終了時刻。先生の番はなかった。ともかく、やっと一息。真剣に議論を盛り上げてくれたゼミ生との一体感、現代日本政治について研究しているぞという充実感を味わいながら、後日先生の研究室へ。反省会である。報告後大変である。

(法学部3年次生 丸田 真志)

文学部 内田慶市ゼミナール
「大学生」を感じる



毎週水曜日の朝、ゼミ生は思い思いの時間に教室に集まり、進み具合の報告や情報交換をする。内田先生の指導は、一見「放任主義」に見えるが、先生の穏やかな性格からそう感じるのかもしれない。しかしそこには「教師の言うことを全て信じてはいけない、自分の頭で考えて新しい問題に取り組んでほしい」という強い信念があることを感じる。私たちは、常に考えることを要求されているのだ。そして考

えた先で行き詰まったときに、先生は助言をくれる。私は、先生と学生がやり取りをしている時の表情を見るのが大好きである。自分の決めた課題に向け、先生と学生が対等に話しているからだ。決して押しつけられずに学んでいるこのゼミのなかにいると、本来の大学の「学びのかたち」を感じることができる。

また、留学経験者など多様な個性豊かなゼミ生一人ひとりも、私にとってはとても魅力がある。これから先、このゼミがどう盛り上がっていくのか、とても楽しみである。

(文学部4年次生 丸尾亜紗子)

文学部 大久保朝憲ゼミナール
十人十色のよさをいかす



私たちのゼミを一言で言い表すとすれば、十人十色という言葉がぴったりだろう。言語学専門の大久保先生のもとに集まってはいるが、その研究テーマは見事な程に異なる。それは、言語というものがそれ自体としても細かく研究できる対象であると同時に、それを通してみえてくる社会を象徴しているものでもあるからだ。そのため、同じゼミのなかでも、文法・構文的側面、レトリック的側面、社会的側面、文学的側面など、みな多様な観点から研究している。

また、各メンバーの個性や経験も、このゼミを楽しくしている大きな要因である。5人中、現役3年次生はたった1人、社会人学生、フレックス生など全員の年齢・学年が違ふ。でも妙にノリがよかつたりして、いい意味で年齢差を感じない。先生本人が、まだ若いというもまた、ノリのよさを加速させているのかもしれない。

まだまだ知り合っただけだけれど、このメンバーで一体どこまで面白くなるのか、乞うご期待といった感じである。

(文学部3年次生 吉田真由美)

経済学部 中川竜一ゼミナール
ファイナンス論を学ぶ



ファイナンス論とは、たとえば「企業はどのようにして資金調達するのか」「株価はどのように決まるのか」など、おカネに関する問題を明らかにする経済学である。

中川ゼミではファイナンスを集中的に勉強している。他のゼミに比べて少人数なので、学生は先輩ゼミ生と一緒に学習することができる。議論が白熱して、時間を延長することもしばしばである。よって、ファイナンスに興味をもつ学生にはうってつけといえる。

またゼミ生は、実践学習の場として「日経ストックリーグ」に挑戦している。これは、擬似的な株式投資や投資に関するレポートの作成を競う大会である。2004年度、全国の中高・大学生2000チームが参加する中で、中川ゼミ生はベスト5に入賞した。これは学生の大きな自信となっている。

ファイナンスに興味をもつ諸君、金融の知識を身につけたいと考える諸君は、ぜひ中川ゼミに挑戦してほしい。(経済学部4年次生 木下 雅雄)

経済学部 浜野 潔ゼミナール
教科書のないユニークな研究

私たちのゼミは現在、関西のさまざまなエンターテイメントと地域経済の関わりについて研究している。活動の中心はフィールドワークで、教科書は使用していない。これは、自分たちの興味があるものを独自の視点からとらえようとするゼミの姿勢の表れだと思う。たとえば私の班では、「大道芸」に焦点をあてて研究している。先日大道芸人の方にインタビューするため天保山で開かれたコンテストへ行ったのだが、なんとその場で指名され舞台上に出演してしまうというハプニ

おもしろゼミナール大集合



ングがあった。このように本やインターネットだけで調べるのではなく、現場に出かけ実際に目で見て体験したりして研究するのが浜野ゼミの特徴なのだ。こうした班ごとの研究成果は、卒業までに報告書としてまとめることを目標としている。私たちのユニークな研究をみなさんにも知ってもらえるように、浜野先生を先頭に23人の仲間とこれからがんばっていききたい。

(経済学部4年次生 徳田 雅有)

商学部 中島道靖ゼミナール
メリハリをつけてこそ



「ステーキホルダーミーティング」を知っているだろうか。私たちは遠い近いは別として企業の利害関係者(ステーキホルダー)であり、その私たちが意見交換することが目的である。世界で活躍する企業ほど直接会うことを大切にしている。中島ゼミはキャノンのステーキホルダーミーティング(2005年2月。上は当日の写真)に参加した。

ゼミのスタンスは「本だけではなく実際に企業に話をきいてみよう」である。そのために発表準備は大変だが、やった分だけ成果が返ってくるので、楽しみは尽きない。ゼミのメンバーには、みんな表と裏の顔がある。ゼミの最中は、ほんとうに静かで真剣そのもの。でも、ゼミが終わるとみんなともおしゃべりになる。メリハリのあるゼミで、何かをやり始めると、まるで人が変わったみたいに熱中して1つのものに取り組む。勉強のことだけではない。例えばベストセラー本や映画・ドラマについても話がはずんだり。こんな楽しいゼミはいかがだろう。

(商学部4年次生 堤 智恵)

商学部 馬場一ゼミナール
睡眠不足と怒声と...



馬場ゼミでは、国際マーケティングについて学んでおり、企業・消費者行動を国際的比較、論文にまとめることを目標としている。そのため夏休みには海外に現地調査に赴く。昨年は、タイで学生アンケートと企業インタビューを行った。だが、論文を書くためには寝る時間を惜しんで勉強をしないといけない。ありえないくらい大量に文献を読み体調不良になったり、ゼミ生同士で喧嘩をしたり、先生に叱られてへこんだり、図書館に一日こもるようなこともある。それでも、統計ソフトが使えるようになったり、海外の調査で現地の人と話したり、企業の人と話したりと、貴重な体験ができる。

勉強ばかりやっているわけではなく抜くところは抜いて、みんなで飲み会をやったり、先生のおいしい手料理をごちそうになったりということもある。こんななかで、私たちの研究成果のひとつがある懸賞論文に入賞できたことは、今後の自信につながると思う。

(商学部4年次生 川口 修司)

社会学部 池内裕美ゼミナール
実践 グループインタビュー



私たちのゼミでは3~4人のグループに分かれて、さまざまな研究法を実践しながら研究に取り組んでいる。なかでも印象的なのが模擬グループインタビュー(グループインタビュー)。これは司会者が6~8人の参加者に対して質問をし、座談会形式で進める調査法である。私のグループでは、「いかに人がPOP広告に影響されるのか」をテーマとした。具体的には「人気No.1」売れている

ます!」などと書かれた現物のPOPを見ながら、どういった文言に心動かされるのかを参加者間で意見交換したり、実際に最も理想的なPOP広告の表示を、パンを題材で作成してもらったりした。

このグループでは私は司会をつとめた。司会者は調査の成否をにぎる要の役だ。意見を聞きながら進行にも配慮せねばならず、大変な緊張もあったが、購買心理に関する貴重な意見や情報を得ることができた。

このようにわがゼミでは、実践を通して調査の厳しさを体験しつつも、とても楽しく有意義な時間を過ごしている。

(社会学部4年次生 横田さやか)

社会学部 山口 誠ゼミナール
「世界」が旅する「ニッポン」



人は、未訪の土地に既知のイメージを抱く。例えば「華の都」「楽園」では、日本を旅する外国人は、どのような「ニッポン」イメージを訪日前に抱き、何を訪日中に体験するのだろうか。

私たちのゼミでは、旅行ガイドブックというメディアが作る「ニッポン」を分析し、そうしたイメージが「現地」でいかに体験されているのかを、フィールドワークで検証する研究を進めている。いまは、世界で最も売れている『ロンリー・プラネット』をはじめ、仏・独・英・中・台湾・韓国で人気の「ニッポン」ガイドブックの誌面比較を行っている。各言語の誌面に映し出される「ニッポン」は多種多様で、日本政府が制作し配布しているガイドブックの「ニッポン」とは大きく異なる姿が見えてきた。

研究成果を活性化することをめざし、23人のゼミ生は日々研究に取り組んでいる。見知らぬ「ニッポン」と出会うことは面白い。

(社会学部3年次生 藤本 将輝)

総合情報学部 青山千彰ゼミナール
遭難体験



私たちのゼミでは、道迷いに代表される山岳遭難、医療・環境などの危機情報問題について、研究に取り組んでいる。特に、山岳遭難において最も恐ろしい事故の一つである道迷いに関しては、同じ研究をしているゼミも少なく、私たちのゼミの最大の特徴であると思っている。この道迷いを研究するために、私たちは山に入りさまざまな道迷い遭難を体験する。その実験の一つとして、地図を頼りに、ゴール地点に向かって歩いていきながら道を探すが、ほんのちょっとした思いこみで、大幅にコースを外れてしまう人が多く、大変面白い結果を見ることができた。もちろん、先生がサポートしていることはいうまでもない。

一方、医療では主に情報セキュリティ、医療事故などを研究している。一見、山岳遭難とは異なる内容に見えるけれども、ヒューマンエラーから見ると共通点が多いそうである。私のテーマはクレーム処理。このテーマで遭難しないように卒業をめざして頑張っている。

(総合情報学部4年次生 岩橋 恒弘)

総合情報学部 岡田朋之ゼミナール
万博を通しての出会いと驚き

万博ってなんだろう。今、ゼミで一番議論されている問題であり、みんなが頭を悩ませている難問だ。私のゼミの春学期テーマは「愛知万博をめくって」である。開催中の愛知万博を中心に、一大メディアイベントとしての万博をテーマパークと比較、企業の



取り組み方、市民参加など多方面から検討することで、現代社会のさまざまな問題を考察しようというものだ。みんなが熱心に取り組んだグループ発表では、万博の意外な一面を新たに発見することができて、驚きの連続であった。

今年の夏休みは、愛知の中京大学に各地の大学からメディア研究に関するゼミが集まる万博インターカレッジ(インカレ)が行われる。実際に愛知万博を見学することにもなっている。現在、インカレ中に行われるワークショップの準備にメンバー一丸となり東奔西走中である。知識を深めた上で臨む万博体験は大変貴重なものになるだろう。そう考えると、今から待ち遠しさを隠しきれない。ゼミ生にとってこの夏は万博漬けとなりそうだ。

(総合情報学部3年次生 日坂 彩)

工学部 青柳誠司研究室
福祉・医療への応用をめざして



本研究室では、ロボットとマイクロシステム(超微細加工技術)という2つのテーマを挙げて研究に取り組んでいる。ロボット班のテーマで特筆すべきは社会的貢献度の高い福祉ホームロボットの開発である。現段階では、移動型ロボットによって食卓の準備、後片付け、洗濯物の整理などの作業を実現している。また、マイクロシステム班ではロボット用のセンサや駆動部品、そして痛くない注射針の開発に取り組んでいる。これは蚊に血を吸われる際に痛みを伴わないということからヒントを得た、蚊の針をモデルにした注射針の開発である。この研究が成果を収めることで将来、人は注射への恐怖・ストレスを感じなくなり、医療分野で大きく貢献できるだろう。

実際にロボットを動かすためのシステムを作成したり、クリーンルーム内のさまざまな装置を用いて実験したりと、各自のテーマに基づき日々楽しく研究を行っている。(大学院工学研究科 M1 田代 和也)

工学部 石井康敬研究室
夢の酸化反応



私が行っている研究は、「ベンゼンからフェノールの直接合成」で、これは化学界において「夢の酸化反応」と呼ばれている。現在では、世界一のレベルで達成されているこの研究も、一朝一夕で形になったものではない。それも、多くの先輩が築いてきた研究の地盤があり、実験をサポートしてくれる先生や先輩がいるからこそ、と強く感じている。

朝から晩まで、時には研究室に泊まって実験を繰り返すこともあるが、だからといって面白いデータが得られるものでもない。ただ、その中から一つでも興味深い結果が得られたら、すべての苦労が報われたような気分になる。このような苦しみと喜びは研究活動に従事した者にしかわからないはずだと考えている。毎月曜日から始まる週報会は研究室全員の議論の場となり、同じ志を持つ研究室仲間と世界一をめざし、切磋琢磨している。(大学院工学研究科M2 坂本 孝雄)



学校法人

関西大学

平成16年度決算について

財務情報を積極的に公開

はじめに

平成16年度決算は、大員会(平成十七年五月二十日)で議決・承認され、算議を経て、理事会(平成十七年五月二十日)で議決・承認された。学校法人は、各設置学校

の教育に係る諸事業を予算として編成し、その予算を目的達成に向けて執行していき、平成十六年度予算当初予算に加えて、第一次補正を実施に計上した事業は、概ね予定どおり実施することができ

ました。平成十六年十月に発足した第十五期理事会において、中長期戦術構想策定体制を構築し、そのひとつとして高槻キャンパス構

想を発表するなど、教育・研究の整備充実に努め、教育に強い、研究に強い、社会連携に強い、ITに強い、入学試験に強い、就職

に強い、そして財政に強い、もろもろのポットや学術文化にも強い、すべての面で「強い関西大学」となり、力強い二十一世紀型総合学園を創造すべく邁進

しました。平成十六年十月に発足した第十五期理事会において、中長期戦術構想策定体制を構築し、そのひとつとして高槻キャンパス構

理事長 森本 靖一郎

法科大学院を開設、145人入学 創立120周年に向け準備着々

事業の概要

平成十六年度に実施した事業の主なものは、次のとおりです。

1 教育研究活動関係

ア 大学院法務研究科(法)拠点校に選定
科大学院を平成十六年度 昨年十月からITセンター
四月から開設
平成十六年四月に法科大 I の新規接続機を設置
学院を開設し、法学修士課程、政策クリエーション
コースに八十八人、既修者 I ティング分野他大学と
コースに五十九人の計百四 間の接続が実現しまし
十五人が入学しました。ま た、千里山キャンパス内
の法科大学院実務も含め、一階で接続し、今年五月
に法律の体系的な知識と思 へるネットワークも、
考力(リカバウンド) 間のネットワークも、
する新しいタイプの大学院 からのネットワーク利用環
を受験資格が得られ、法曹へ 境を大幅に改善しまし
の道が開かれるものです。 上でのセキュリティ強化
I 文部科学省の「スーパ システムも改善しまし
「SINTE」の新規接続 Web 版総合教育支援

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

2 教育研究環境の整備充実関係

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ

ア 平成十六年度は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G)に、進化する Learning の展開、授業と学習の統合の支援及び教授法と学習コ



写真(左) 創立120周年記念事業の一環として、また、経済



写真(右) 工部局(新館)改修工事



工学部第6 実験棟の平成十六年度建築

会議室・和室
・小ホール等の
施設も整備、拡
充し、同時に学
生食堂や購買部
等の学生生活を
サポートする機
能も併せ持つ施
設として建築し
ます。平成十八
年二月竣工の予
定です。

抜き取って
お読みください

貸借対照表

貸借対照表 平成17年3月31日 (単位 円) 資産の部

貸借対照表 平成17年3月31日 (単位 円) 負債の部

貸借対照表 平成17年3月31日 (単位 円) 基本金の部

貸借対照表 平成17年3月31日 (単位 円) 消費収支差額の部

(注) 1 減価償却額の累計額... 2 徴収不能引当金の合計額... 3 担保に供されている資産の種類及び償却は次のとおりである...

学校法人関西大学 平成16年度決算について

力漲る21世紀型総合学園の創造をめざして

学校法人関西大学 平成16年度決算について

力漲る21世紀型総合学園の創造をめざして

資金収支計算書

資金収支計算書 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで (単位 円) 収入の部

資金収支計算書 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで (単位 円) 支出の部

「財産目録」は、本学ウェブサイトで... 収支計算書

消費収支計算書

消費収支計算書 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで (単位 円) 消費収入の部

消費支出の部

消費収支計算書 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで (単位 円) 消費支出の部

資金収入は四百六十五億円

人件費支出は百九十一億円

収支決算

「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」の概要について説明します。

1 資金収支決算

平成十六年度資金収支決算は、前掲の「資金収支計算書」のとおりですが、これを総括したものが表 1 です。

2 消費収支決算

平成十六年度消費収支決算は、前掲の「消費収支計算書」のとおりですが、これを総括したものが表 2 です。

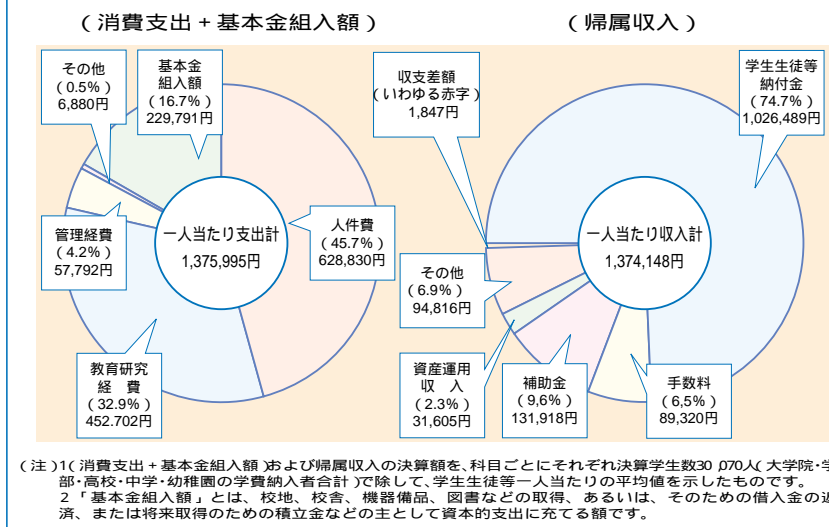
＜表 1＞ 資金収支決算総括表 (単位 百万円)

科 目	平成16年度予算	平成16年度決算	差異
前年度繰越支払資金	21,894	21,894	0
当年度			
資金収入	43,560	46,522	2,962
資金支出	45,457	43,617	1,840
収支過不足	1,897	2,905	4,802
次年度繰越支払資金	19,997	24,799	4,802

＜表 2＞ 消費収支決算総括表 (単位 百万円)

科 目	平成16年度予算	平成16年度決算	差異
A 帰属収入	40,238	41,321	1,083
B 基本金組入額	6,856	6,920	64
C 消費収入(A+B)	33,382	34,401	1,019
D 消費支出	35,743	34,457	1,286
当年度消費収支差額(C-D)	2,361	56	2,305
前年度繰越消費収支差額	718	718	0
翌年度繰越消費収支差額	3,079	774	2,305

＜表 3＞ 平成16年度消費収支決算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賅う収入」



学校法人関西大学 平成16年度決算について

力漲る21世紀型総合学園の創造をめざして

3 貸借対照表

平成十六年度末、平成十七年三月三十一日現在の収支差額の財政状態を示します。

4 監査報告書

私立学校振興助成法第三十七条第三項第三号の監査報告書に、監査法に基づき監事の監査報告書のとおりです。

監事の監査報告書 平成17年3月31日

学校法人 関西大学
理事長 森本 新一郎 様

学校法人 関西大学
監事 榎 浩 彦 様
監事 寺内 徹太郎 様
監事 山田 浩幸 様

私たちが監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人関西大学第15条各号の定めに基づき、平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)の法人の財産の状況及び監事の業務の執行の状況を監査いたしました。その結果につき次のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要
監事は、理事会で重要な会議に出席するほか、理事から事業の概況を聴取し重要な会計簿等を閲覧し、主要な関係部署において業務及び財産の状況を調査し、また、会計監事(監査法人トーマツ)と連携を図り、計算書類につき確認を加えました。

2 監査の結果
(1) 財務目的、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び助成行為に概して従順の状況を示しているものと認めます。
(2) 理事の職務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び助成行為に違反する重大な事項は認められません。

以上

監査報告書 平成17年3月31日

学校法人 関西大学
理事長 森本 新一郎 様

監査法人 トーマツ
代表社員 酒井 清 様
代表社員 辻内 章 様

当監査法人は、私立学校振興助成法第37条第3項の規定に基づき、昭和51年7月11日付け文部省令第43号に基づき、学校法人関西大学の平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)の決算書類、すなわち、貸借対照表(人件費支出内訳表を含む)、消費収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金組入表を含む)について監査を行った。この監査書類の作成及び監事業務に、当監査法人の責任は限られるが、計算書類に対する意見と表明することにある。

当監査法人は、帳簿内において一般に発生を認められる疑念の範囲に限定して監査を行った。監事の基準は、当監査法人に計算書類に重要な事項の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求める。監査は、誤差を基礎として行われ、理事が検閲した決算資料及びその誤差の是非は、監査人によって行われる見解の交換も含めての計算書類の表示を被検査者自身が決定している。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を付たと判断している。

当監査法人は、上記の監査報告書、学校法人会計基準(昭和56年文部省令第18号)に準拠して、学校法人関西大学の平成17年3月31日をもって終了した会計年度の経営の状況及び現在の財政状態を示すための重要な事項について適宜に表示しているものと認める。

学校法人が当監査法人に業務委託した旨の通知は、監査委員の報告により記載したとおりである。

以上

学生ボランティア活動を支援

ボランティアセンターがオープン

今四月、学生センターにボランティアセンターがオープンした。ボランティアには、「子ども・障害者・高齢者」・「キャンパス活動」・「環境」・「国際協力」など数え上げればきりがなく幅広い種類・内容があるが、本学のボランティアセンターは、学生諸君が主体的にボランティア活動を行う際の側面的支援を行うことを主目的としている。



7月2日に開催された講座「はじめてのボランティア」

ボランティアでは課外教育プログラムで行った、キャンパス内での「花植え」や「図書への落書き消し」といった活動を支援してきた。また、これまでも学生センターでは課外教育プログラムを実施し、大学入學から、自活体や地域まで大きくも連携しながら、学生ボランティアの開設に伴い、ボランティアというテーマで講座を実施した。参加した学生は熱心に聞き入り、学

生のボランティアに対する活動意欲が高まったものと思われる。今後、より多くの学生にボランティアについての関心と活動意欲を促すためのセンターからさまざまな情報を発信する。また、秋季期(十月・十一月)には、ボランティア(ボランティアセンター)養成のための連続講座(週一回・七回実施)を開催する。オープンしたばかりで手探りの面もあるが、経験を積みながら学生が積極的に活動するようなプログラムを提供し、支援していきたいと考えている。(ボランティアセンター 事務室)

英語e Learningを導入



自分のレベルをベースで学習

外国語教育研究機構では、学習者の英語運用能力の向上をめざして、正課授業だけでなく、キャンパス内の積極的な自己学習を促進するために、e-Learningシステム「TOEIC Navigator」(アルク・ネットアカデミー)を導入した。これはTOEIC®のスコアをアップすることを目的に設計された学習プログラムで、コンピュータを使って、学生が自分のレベルにあった内容を、しかも自分のペースで学習できるような工夫されている。英語に少し自信のない人は、「初・中級コース」を、またTOEIC®受験をめざして勉強したい人は、「スタンダードコース」がおすすめである。いずれも、岩崎記念館のCALL教室とMML1室、またテープライブラリーで利用できる。平成十七年度入学生からは、TOEIC®等て一定のスコアを取得した場合、単位が認められる。外国語検定試験の単位認定制度も始まっており、英語力アップのために、YACZ「TOEIC」を大いに活用してもらいたい。問い合わせは、外国語教育研究機構事務室まで。



大学クラブ 一日体験入学 非常に有意義と中学生の声

六月十六日、梅雨時期とは思われぬ好天のもと、高槻キャンパスにおいて、高槻市教育委員会との共催で、高槻市との連携協力に関する協定に基づき、大学クラブ「日体験入学」を実施した。

ここで、高槻市立第二中学校だけの参加であったが、今年度は第一中学校・第四中学校の二校が、この催しに参加した。

当日は、高槻市教育委員会、教育指導課長、広ま道幸次部長の挨拶から始まり、中学生のサッカー部、バスケットボール部、吹奏楽部、合計十三人の参加者に対し、バスケットボール部、応援団吹奏楽部の学生が大学のクラブ活動を体験してもらったため、クラブごとに分かれ指導、練習を

行った。サッカー部、バスケットボール部は、午前基本の動作やシュート練習、午後には合同で練習試合を行い、吹奏楽部は基礎練習、そしてこの夏に行われる吹奏楽コンクールの課題曲を練習した。各部練習の成果は大きく、大学生のレベルが高槻力がさまざまな面で共みな満足気であった。また、各参加クラブの顧問の先生からは、生徒にとって非常に有意義な活動ができたのではないかと思われ、今後さらに本学と高槻市がさまざまな面で協力し合い、発展してい

く、この夏に行われる吹奏楽コンクールの課題曲を練習した。各部練習の成果は大きく、大学生のレベルが高槻力がさまざまな面で共みな満足気であった。また、各参加クラブの顧問の先生からは、生徒にとって非常に有意義な活動ができたのではないかと思われ、今後さらに本学と高槻市がさまざまな面で協力し合い、発展していく。

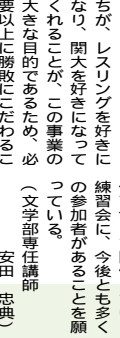
博物館

なんでも相談会を開催

関西大学博物館では、八月五日(金)と六日(土)に、「博物館なんでも相談会」を開催する。会場では、本学の教員、大学院生、夏休み中の、小学生の自由研究や課題、体験を通しての疑問や相談にも応じる。また、六日(土)には、葉っぱを使った工作会などイベントも予定している。問い合わせは、博物館事務室(☎06-6368-1171)まで。

子どもたちとレスリングを楽しもう

第1回 かんだいカップ



当日は、約七十人の子ど

練習会に参加してくれるようになり、保護者やOBを交えて、盛大な大会となった。集まった子どもたちにとっても、収穫は大きかったはずである。

こうした試みは、最新のスポーツ科学の知見を援用した非常に先進的なもので、大学に先駆けて注目される地域貢献としても今後ますます注目を集めるであろう。毎週土曜日十三時から、千山里山キャンパス東体育館にて開催している練習会に、今後とも多くの参加者があることを願っている。(文学部専任講師 安田 忠典)

文学部教授 高橋誠 ほか 『残島 琉球の原風景』(平成十七年四月一日・ナカシヤ出版・定価九百九十円) 『社会情報学部教授 齋藤了文 ほか』 『ケイブルテレビ 未来の記憶 放送と通信を駆け』(平成十七年七月十日・世界思想社・定価千九百九十円)



文学部教授 高橋誠 ほか 『残島 琉球の原風景』(平成十七年四月一日・ナカシヤ出版・定価九百九十円) 『社会情報学部教授 齋藤了文 ほか』 『ケイブルテレビ 未来の記憶 放送と通信を駆け』(平成十七年七月十日・世界思想社・定価千九百九十円)

受賞

- 日本都市計画学会 功績賞 工学部教授 河上 省吾 (受賞日:平成十七年五月二十日)
- 日本都市計画学会 功績賞 大学院工学研究科M2 松本健太郎 (受賞日:平成十七年五月二十日)
- 平成十七年度年度学術講演会優秀発表賞 大学院総合情報学研究所M 柏木 宙 (受賞日:平成十七年五月二十日)
- 大学院工学研究科M2 高橋 康隆 (受賞日:平成十七年五月二十九日)
- シズメ制御情報学会(二〇〇五年度システム制御情報学会奨励賞) 大学院総合情報学研究所M 大槻 敏 (受賞日:平成十七年五月二十九日)
- 大学院工学研究科M1 森井 拓 (受賞日:平成十七年五月二十九日)
- 大学院工学研究科M2 崎野 恵 (受賞日:平成十七年五月二十九日)

ウワサの東京センター

センターの受付カウンターには、学生の提案による「落書き帳」が置かれていて、来室した学生諸君が思い思いに、その日の気持ちを書きつけている。『私も初東京センター』

東京八重洲南出口正面のダイワ八重洲ビル8階にある、明るくて、ひろびろとしたオフィスは、学生、教職員、校友、企業関係者など多くの人たちに利用され、好評を博している。

特に、就職活動で東京へ出てくる学生(約600人)にとって東京センターは、唯一、気心の休まる「東京オアシス」と受けとめられている。

自由に使えるパソコンや証明書の即時発行、上京時の宿舎の手配、お茶のもてなしなどどれも喜んでもらえているが、なかでもセンター職員の飾らない対応が学生諸君の胸襟を開かせているとしたら、うれしい。

学生は、将来の関西大学を映す社会人という名の鏡の素材である。できるだけ曇らないよう磨いて送り出す手助けをと考え、居心地は最高です

センターの受付カウンターには、学生の提案による「落書き帳」が置かれていて、来室した学生諸君が思い思いに、その日の気持ちを書きつけている。『私も初東京センター』

東京八重洲南出口正面のダイワ八重洲ビル8階にある、明るくて、ひろびろとしたオフィスは、学生、教職員、校友、企業関係者など多くの人たちに利用され、好評を博している。

特に、就職活動で東京へ出てくる学生(約600人)にとって東京センターは、唯一、気心の休まる「東京オアシス」と受けとめられている。

自由に使えるパソコンや証明書の即時発行、上京時の宿舎の手配、お茶のもてなしなどどれも喜んでもらえているが、なかでもセンター職員の飾らない対応が学生諸君の胸襟を開かせているとしたら、うれしい。

学生は、将来の関西大学を映す社会人という名の鏡の素材である。できるだけ曇らないよう磨いて送り出す手助けをと考え、居心地は最高です

総理大臣杯で優勝 体育会サッカー一部



初優勝に沸くサッカー部員

体育会サッカー一部が、「第34回関西学生サッカー選手権大会」での優勝に続いて、7月10日に長居スタジアムで開催された「第29回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」決勝戦において、早稲田大学を3対2で破り、初優勝、見事学生日本一に輝いた。

副学長(総務・学生担当) 小幡 育

すばらしい快進撃に感動

勝利はすばらしく、強豪を相手に見事な戦いぶりであった。実に三十八年ぶりの全国制覇である。総理大臣杯の前哨戦となった関西学生サッカー選手権大会では苦しい試合が続く中、勝利に対する選手たちの強い信念が七年ぶりの関西制覇へと導いたと聞かされた。選手たちから「全国大会優勝」と大きな目標を掲げた強い意気込みが伝わってきた。私もグラウンドで選手たちを応援しよう、一回戦、対新潟大学戦を観戦した。試合は関大が前半二分の得点、そのまま1対0で

の笑顔に感動し、激励の言葉も涙声になつてしまつた。これまで悔し涙を流したことはあるが、映画、芸術を見て、本を読んで涙を流すことがなかった。琴線をふるわずすよな感動を受取る心の余裕がなかったのだと思う。今回は、生身のサッカーの試合を観戦し、試合後、選手の苦しさの中に入り、輝く笑顔とその姿を見て、改めて関大への帰属意識と母校愛に目覚めた。その後準決勝、対筑波大学戦5対1で勝利。そして決勝戦、対早稲田大学戦を3対2で勝利し、優勝。私も時間の許す限り、学生たちとともにグラウンドに心援に駆けつけた。全試合先制点をあげた積極的な攻撃のプレー、一戦ごとに力を一つつけていくチームの姿、一杯力を出し、最後まで



緊迫した試合を見守る学生たち

学生諸団体の行事予定 (7/15~10/12)

- 馬術部
 - 第46回全関西学生障害馬術大会 7/16(土)~17(日)
 - 三木ホースランドパーク
 - アイスホッケー部
 - 全大阪大学生アイスホッケー新人戦 7/25(月)~8/9(火)
 - 大阪府立臨海スポーツセンター
 - 自転車部
 - 第46回全日本学生選手権自転車競技大会 7/30(土)~31(日)
 - 長野県松本市かりがね自転車競技場
 - 朝鮮歴史研究部
 - 吹田祭りイベント参加 7/31(日)
 - 吹田市内祭り会場
 - ソフトテニス部
 - 全日本学生ソフトテニス選手権大会 8/3(水)~8(月)
 - 能都健民テニスコート
 - 弓道部
 - 全日本学生弓道選手権大会 8/4(木)~7(日)
 - 神戸グリーンアリーナ
 - なぎなた部
 - 第44回全日本学生なぎなた選手権大会 8/7(日)
 - ヴィスゴこことひら
 - 邦楽部
 - 平成17年度関西学生邦楽連盟・連盟祭 8/12(金)
 - 吹田メインアター・中ホール
 - 美術部
 - 夏展 8/14(日)~21(日)
 - 大正CHURACUBE
 - ボクシング部
 - 第60回国体近畿ブロック 8/19(金)~21(日)
 - 西宮市立中央体育館
 - ユースホステル部
 - グリーンキャンパ 8/22(月)~24(水)
 - 大阪野外活動センター・能勢
 - バレーボール部(女子)
 - 関西バレーボール大学男女選手権大会 8/24(水)~26(金)
 - 会場未定
 - 器械体操部
 - 第59回全日本学生体操競技選手権大会 8/31(水)~9/3(土)
 - パークアリーナ小牧(愛知県)
 - 卓球部
 - 関西学生卓球リーグ戦 9/1(木)~10(土)
 - 伏見公園総合体育館ほか
 - テニス部
 - 関西学生テニス選手権大会 9/1(木)~8(木)
 - 初テニスセンター
 - アメリカンフットボール部
 - 関西学生秋季リーグ 9/2(金)~10月下旬
 - 王子スタジアムほか
 - 柔道部
 - 第7回関西学生柔道体重別団体優勝大会
 - 会・第17回関西学生女子柔道体重別選手権大会 9/3(土)
 - 岸和田市総合体育館
 - バスケットボール部(男子)
 - 関西学生バスケットボールリーグ戦 9/3(土)~10/30(日)
 - なみはやドームほか
 - 軟式野球部
 - 秋季リーグ戦 9/6(火)~29(木)
 - 豊中ローズ球場ほか
 - 落語大学
 - 上方落語のタベ 9/10(土)
 - 兵庫県南淡町中央公民館
 - バドミントン部
 - 関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会 9/15(木)~30(金)
 - 大阪市立中央体育館ほか
 - ヨット部
 - 関西学生ヨット選手権大会 9/17(土)~19(月)
 - 新宮宮ヨットハーバー
 - 剣道部
 - 第53回関西学生剣道優勝大会・第29回関西女子剣道優勝大会 9/19(月)
 - 大阪市立中央体育館
 - 重量学部
 - 第41回全日本学生新人選手権大会 9/25(日)
 - 関西大学重量学練習場
 - 将棋部
 - 新人戦予選 9/25(日)
 - 大阪市立大学
 - 個人戦予選
 - 10/9(日)
 - 大阪市立大学
 - 野球部
 - 関西学生野球六大学秋季リーグ戦 9月上旬~10月下旬
 - 西京極野球場ほか
 - アスケット部
 - 西日本ショートトラックスピードスケート選手権大会 10/1(土)~2(日)
 - 難波リンク(予定)
 - 空手道部
 - 第48回全関西大学空手道選手権大会 10/2(日)
 - 大阪市中央体育館
 - 漕艇部
 - 全日本大学選手権大会 10/6(木)~9(日)
 - 戸田(埼玉県)
 - 千里山法律学会
 - 秋季関西学生法律討論会 10/8(土)
 - 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス
 - 速記部
 - 関西学生新人速記競技大会 10/9(日)
 - 関西学院大学

の「学生文化のフロンティア」となり、大学全体に活力と栄光をもたらして、本学には、さまざまな分野で活躍する学生たちが活躍し、お互い切磋琢磨しながら、この関西大学で大きく成長してくれることを願っています。今後、学生みんなが大きく活躍していくことを期待しています。(工学部教授)

第28回 総合開関戦

今年で28回を迎えた総合開関戦が、6月16日から18日までの3日間、関西学院大学を中心に開催された。前哨戦では6勝7敗、本戦第1日目は順調な滑り出しを見せたものの、結局14勝18敗5分で苦杯を喫した。これにより、通算成績は14勝14敗の五分となり、来年以降の総合開関戦のよりいっその隆盛に期待がかかる結果となった。(写真提供：関大スポーツ)



E S S が快挙達成

第一部学術研究会英語研究部がこの大会はN D T アメが偉業を成し遂げた。五月十五日に立命館大学の衣笠キャンパスで行われた全日本英語討論研究会主催の「T n a n t i o n e 2 3 r d J a p a n e s e E n g l i s h D e b a t e T o u r n a m e n t」(通称:J N D T)本選トーナメントに参加50チームノ宮渉さん・文二の成績

飛躍

研究部が残した成績、団体優勝個人三位は参加大学の中でも今期最高レベルであり、個人の成績においては関西では断トツのトップ、全国でも一位のタイトル率という輝かしいものである。また、六月十二日に橋本で行われたこちらでも「イイト」の全国大会であるE A S T W E S T 大会においても、団体三位、個人二位(ノ宮渉さん・文二)の好成績であった。(学生生活課)

射撃部の安西美帆さんが優勝

十六日に熊本県総合射撃場で行われた第三十五回西日本ライフル射撃競技選手権大会で、見事優勝を果たした。調子はあまりよくなかったという安西さんだが、社会人も参加する大会にも関わらず、最後まで高い集中力を維持し、大学入学後の大会での最高得点である三百九十二点を打ち出した。



関大通信 第328号

平成17年(2005年)7月15日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は10月13日発行の予定です

無断転載不可

関大 Trivial

こんな逸話
ごぞんじですか

第一の Trivial

関西大学には、日本に現存するもっとも古い「ルイ・ヴィトン」のトランクがある。

まずは写真をごらんください。



ページと茶のストライプ模様のキャンパス地を使ったこのトランクは、「80 Courrier Cuire」と呼ばれるもので、1872(明治5)年に製造され、1884(明治17)年9月2日に当時の値段1,800フランで販売されたものです。購入したのは小倉久という日本人でした。小倉は当時、駅逓官という役職にあり、1884(明治17)年、ポルトガルのリスボンで開かれた万国郵便会議に出席したおり、パリのルイ・ヴィトン社に立ち寄り、このトランクを購入しました。帰国後、小倉は彼本来の専門であった司法畑の職務にもどり、1886(明治19年)に大阪控訴院検事となります。そのとき、関西大学の前身である関西法律学校創立の



小倉 久氏

ことにあたり、創立者の1人として、検事の傍ら初代校長も務めました。現在、ルイ・ヴィトン社が所有する19世紀後半の顧客名簿の中には、十数人の日本人らしい名前が見出されます。フランス特命全権大使であった鮫島尚信(1878年、80年/注文購入した年)、大山巖(1882年)、後藤象二郎(1883年)、小倉久(1884年)、西園寺公望(1886年、88年)、岩倉具視(1900年)らがルイ・ヴィトンの製品を買求めています。小倉のトランクは、関西大学創立100周年のときにご遺族から寄贈されましたが、このトランクより前に購入されたものの存在が今のところ確認されていませんので、現状では小倉のトランクが「現存する日本で最も古いルイ・ヴィトンのトランク」と言えるでしょう。なお、ルイ・ヴィトンのトレードマークである「L」と「V」が組み合わされた「モノグラム」というデザインは、この当時、まだ使用されていませんでした。小倉のトランクは「レイエ」というデザインですが、このデザインも当時、人気が高いものでした。

第二の Trivial

関西大学の創立者の中に、「鉄腕アトム」のひいおじいさんがいる。

関西大学は、1886(明治19)年11月4日に関西法律学校として誕生していますが、そのとき、校主の吉田一士や、講師で初代校長を務めた小倉久、さらには名誉校員の児島惟謙といった12人の人たちが創立のことにあたりました。このうち、児島惟謙は1891(明治24)年に警備の巡査がロシア皇太子に切りつけた「大津事件」が起こった際、大審院長(現在の最高裁判所長官)として、この国難に対処すべく、尽力した人物として有名です。

12人の創立者の大半は司法官でしたが、そのほとんどが「司法省法学校」を卒業した俊秀たちでした。そのなかの1人に手塚太郎という人物がいます。この人は1880(明治13)年に司法省法学校第2期生として入学、明治17年に卒業したのち、検事として千葉始審裁判所詰、さらには1886(明治19)年7月に大阪始審裁判所詰となり裁判業務に携わりました。そしてそのころ、関西法律学校創立のことに与っています。その後、司法官として国内の裁判所を歴任した手塚は、最後、長崎控訴院長となりました。

そしてこの



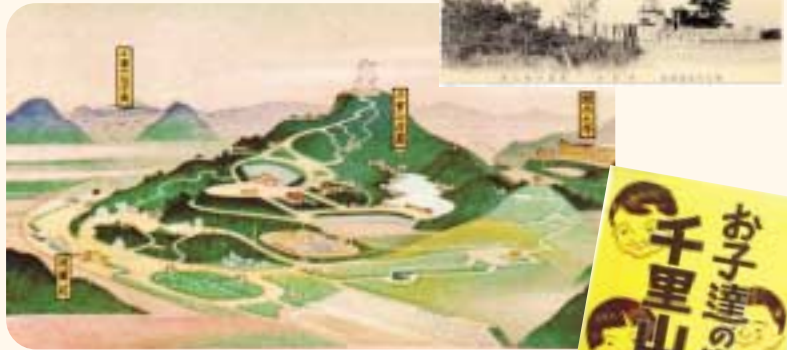
手塚太郎氏

手塚太郎こそが、漫画家手塚治虫さんのおじいさんなのです。手塚太郎は晩年に宝塚で過ごし、幼かった手塚治虫さんをかわいがったといわれています。手塚治虫さんは「鉄腕アトム」の生みの親。ということは、手塚治虫さんのおじいさんである手塚太郎は、「アトム」から見ればひいおじいさんにあたるというわけです。なお、手塚太郎の父、良仙(良庵)は、幕末に緒方洪庵が大阪に開いた道塾で学んでいます。手塚治虫さんは、自身の曾祖父である手塚良仙を主人公にした「陽だまりの樹」という作品も残しています。

第三の Trivial

関西大学は、昔、遊園地だった。

写真にご注目ください。



吉田初三郎(1884-1955)画伯筆

中央の小高い丘の上に飛行塔がそびえ、中段には野外音楽堂や小さな乗り物が走る公園、下段には植物園などが配置されており、その説明として「千里山遊園」という文字が見えます。さらに、その右奥には、「関西大学」という説明書きも読み取れます。この絵から分かるように、現在の第一高等学校、第一中学校から法人・教学の本部である関西大学学舎、創立100周年記念会館、さらには社会学部学舎がある丘陵部一帯こそが、かつて「千里山遊園」と呼ばれた遊園地だったのです。

「千里山遊園」は、1920(大正9)年に北大阪電気鉄道により「千里山花壇」として開設され、枚方遊園と並んで大阪の一大行楽地として人気を集めました(1938<昭和13>年に「千里山遊園」と改称)。秋には菊人形展も盛大に開催され、数多くの観客が訪れました。園内には飛行塔や野外音楽堂、ポート池、人工滝、小動物園などが設けられ、特に飛行塔は子どもたちの人気の的となったようです。

「千里山遊園」は戦争の激化に伴って一時休園し、戦後、1946(昭和21)年に再開されたものの、1949(昭和24)年に枚方遊園の菊人形が復活した



ことから入園者数が減少、1950(昭和25)年には閉園となりました。同年末、関西大学はこの土地を譲り受け、翌1951(昭和26)年に幼稚園、さらには高校や中学などの校舎を建設していきました。ちなみに飛行塔は、現在、社会学部の学舎がある付近に立っていたと思われる。また、野外音楽堂の場所は現在、創立100周年記念会館が建っています。

年史編纂室(出版部出版課)

大学ではさまざまな講義が開講されており、学生はそこで多くの知識を学ぶ。しかし、授業だけでは学べないものもある。今の特集は関大でのゼミの活動を紹介しているが、ゼミでは授業以外に多くの大切なことを学ぶことができる。授業では一般に答えの分かっている問題をいかに解くかを教える。しかしゼミでは学生が自ら問題を考え出し、その答えを得るための方法や手段を工夫する。先生は会話を通じてそれを助ける。また、ゼミではコンパやゼミ旅行などの行事も行われ、先生やメンバーの間により親密な関係が築かれる。ゼミの研究活動が大学生活での一番の思い出となり、ゼミ生活で身につけたものは卒業後の人生を豊かにしてくれると信じている。(原 武久)

森田雅也(もりた・まさや) 学的資源管理論専攻 研究関心は仕事における自律性であり、最近では裁量労働制や育児・介護休業制度など、自律的な働き方を可能にする諸制度の実態究明に取り組んでいる。



今月の表紙

編集後記